

# 森里海に学ぶ

## 大正大と三陸の連帯

- 1 -



あまの・れいこさん 1953年京都市生まれ。同志社大卒業後、内外の川・湖・海辺を釣り歩き、文章を書く。2008年に養老孟司氏らと「日本に健全な森をつくり直す委員会」を結成。主な著書に「林業再生」最後の挑戦」。

### ●直後に現地へ

の事務局長を務めているが、昨秋、養老先生から「私たちが3・11東日本震災が起きても、大正大学と一緒に東北にできることをやりましょる仏教系の大正大学は教員、う」と提案いただいた。大

### 作家 天野 礼子

しての間伐作業を戸倉中生徒、大正大学生と行う。  
(3)大正大学生への「森里海連環学」授業。  
(4)大正大学での公開講座の普及をサポートしている。今、三陸全体では巨大な防

# 子どもたちの思い 実感

### ●魚介類の宝庫

学生、職員にボランティアを募り、宮城県南三陸町に入った。3月15日に計画されていた。卒業式は取りやめ、4月に入ってから入学式も延期になった。今もボランティア活動は続いている。  
私は2008年に養老孟司先生とつくった「日本に健全な森をつくり直す委員会」

「森里海連環学」とは、2003年に京都大学より提唱された、森と川と海のつながりやつらなりを取り戻すための学問。ヒラメの研究者と森の研究者によって考えられた、21世紀には20世紀に人間が里域でくりひろげた自然破壊

潮堤が、海岸にも、小さな川の河口の両岸にも上流数キロにわたって造られようとしていた。しかし、海辺や、海や川の魚の産卵場となっている河口は、三陸が「魚介類の宝庫」となってきたことを支えてきた「宝物」そのものだ。  
環境省の「南三陸復興公園」で、1年間、月1回掲載し

これらのキーワードも「森里海」だ。

### ●抱擁で癒やす

こと5月31日に、C・W・ニコルさんの戸倉中学への出前授業があった。漁師の子どもが多く、森と海のつながりの大切さはわかってくれたと思う。誰一人私語もなく、真剣だった。最後に「ニコル先生に抱きついていいよ」と言うと、ほとんどが目を赤くして抱きつき、女性の校長先生も「私も抱きつきたい」と言ってハグ(抱擁)された。先生も生徒も、つらいことがたくさんたくさんあったのだとわかった。